



新しい時代「令和」の時代を迎えて

～ 「人に教える」「人に説明する」「人に伝える」ことが、学びを確かにする ～

校長 谷口 道行

新緑が本当にきれいな季節になりました。八東小学校から見える周囲の山々も、目に鮮やかな新緑に彩られています。この季節、生命の躍動を感じる季節です。この季節、「緑」の色も様々あることを感じます。絵の具の緑色は、一色ですが、自然は、実に豊かな「緑」を日々表現しています。

さて、平成31年4月30日（火）を持って「平成」が幕を閉じました。そして、5月1日（水）から「令和」がスタートしました。

先日、あるコマーシャルをテレビで見ながら、しみじみ思いました。

そのコマーシャルは、歌手・中島みゆきさんの「時代」という歌をバックに「平成」という文字、「平和」という文字、そして、「令和」という文字が、画面中心に映し出されていたのです。みなさんよく知っているある携帯電話会社のコマーシャルです。

「平成」→「平和」→「令和」。「平成」という時代と、「令和」という時代を繋ぐ言葉は、「平和」という言葉であることを、しみじみ思いました。

来る「令和」が「平成」に続き、「平和」であること、何よりも、「戦争」がないことを祈ります。強く願います。子供たちの未来のために。

「時代」

（作詞・作曲 中島みゆき）

「今は こんなに悲しくて 涙も酒れ果てて もう二度と笑顔には なれそうもないけど

そんな時代もあったねと いつか話せる日が来るわ

あんな時代もあったねと きっと笑ってはなせるわ

だから今日は くよくよしないで 今日の風に吹かれましょう

まわるまわるよ 時代はまわる 喜び悲しみ繰り返し ……」

今から40年以上も前の昭和の歌です。うろ覚えで書いてみました。

（因みに、1975年11月のヤマハのポピュラーコンテストのグランプリ曲でもあります。）

「時代」の歌詞ではありませんが、時代が変わる中で、子供たちの学びの姿もいろいろ言われます。4月のPTA総会でもお話したように、学校現場は、「足し算」ばかりです。時代の流れや社会の要請に合わせて、様々な「〇〇教育」なるものが、学校現場には降ってきます。それらに対応しつつ、「令和」の時代の学びを進めなくてはなりません。2020年度・令和2年度4月からスタートする新学習指導要領に基づく新教育課程に対しても、学校教育は歩みを進めています。「何を知っているか、何ができるか」という「生きて働く知識や技能の習得」という学びは、もちろん必要ですが、単に「記憶」を正確に再現する学び方は、これからの時代、新学習指導要領では、求められる学びではありません。「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成」を主眼に、「知っていること、できることをどう使うか」が重要視されています。

最近、よんだ本でこんな話がかかれていました。

「自分の言葉でまとめ直す」「自分の言葉で説明する」このことが、学びの力を更に引き延ばすことにつながるということです。つまりこうした「アウトプット・output＝出力・生産活動・知的生産物」が重要ということです。単なる「インプット・input＝入力・投入・提供された情報や考え」だけでなく、「読む・聞く」の「インプット」を経た上で、それをどう「話す・書く・行動する」の「アウトプット」するかが、ますます求められるということです。「人に教える」「人に伝える」ことが、学びを確かにする。そうしたことも記されていました。（「学びを結果に変えるアウトプット大全」精神科医・樺沢紫苑 著 より）

その本の中では、ロンドン大学の研究が紹介されていました。あるものを暗記してもらった実験で、Aのグループには、「これが終わったらテストをします。暗記してください。」と伝え、Bのグループには、「これが終わったら他の人に伝えてもらいます。暗記してください。」と伝えました。同じ暗記時間で、結果は、Bグループの方が良かったのです。

「人に伝える」「人に説明する」ということは、学びを確かなものにします。その意味で、outputを大切にしたい「対話・説明」の学習を、今後も日々の授業で大切に、継続していきます。

さあ、長い長い10連休が終わりました。そして、今日7日からは、19日の運動会に向けて、学校生活が始まります。わずか9日間です。休まずにみんなで運動会に向かいましょう。1日1日を大切に。19日を全員元気で迎えましょう。全校140名の力を発揮しましょう。

雨に降られましたが、全員参加で全員完歩しました。
「1年生を迎える会」も無事終了。



「1年生を迎える会」にて
～一人一人も成長を感じました。～

今年の6年生25名、そして5年生22名も、この遠足を通してまた成長してくれました。昨年の37名の6年生を思えば、数は減りましたが、高学年として協力し、全校遠足で活躍する姿を見ながら、とても頼もしく思いました。

また、1年生も全員が全校の前で上手にあいさつすることもできました。

こうした機会を通して、高学年は自分たちの立場や責任を自覚します。

「場や機会が、人を育てる」です。

全校遠足、無事終了。
～雨にも負けない、八東小学校の子どもたち～

25日は、残念ながら快晴とはなりませんでしたが、当初計画していたとおり、全校遠足を実施しました。前日から多少雨があることを予想していましたが、全校児童、そぼ降る雨を苦にもせず、安部駅から竹林公園まで歩き、竹林公園での昼食、SLの説明・見学、そして、竹林公園から隼駅まで歩きました。

竹林公園では、管理の森岡さんのお陰で雨に遭うこともなく、それぞれ分かれて施設内で昼食を食べ、SLの展示された施設も見学し、説明も聞かせていただきました。関係のみなさんのご厚意に心から感謝します。帰路は雨も上がり、田植えの始まった船岡地域を地域のみなさんにあいさつしながら歩きました。

子供たちの「こんにちは」の声が、田植えの始まった田んぼに響いていました。

「八東川クリーンアップ大作戦」に4年生参加



4月20日(日)に、4年生児童27名が晴天のもとで、クリーンアップ大作戦の活動に参加しました。子供たちは河原でたくさんのビニールやペットボトル等回収しました。これから始まる4年生の総合的な学習のスタートとして大切な活動です。自分たちの身の回りの環境に対する気づきを得る大切な活動です。そして、参観日の授業で活動を通して学んだことを発表しました。

ガンバレ、4年生。

お願い

5月19日(日)に八東小学校3回目の大運動会があります。今日を含め、わずか2週間の練習期間になります。その間、毎日練習するので、体操服が汚れてしまい、洗濯しても間に合わないことが考えられます。間に合わない場合は、白のTシャツ等で体育を行ってもかまいません。無理をされませんよう、よろしくお願い致します。(但し、運動会本番は必ずそろえて下さい。) また、水分補給のためのお茶や汗ふき用のタオル等の準備もお願い致します。児童の体調管理に御協力をお願いします。

～風邪やインフルエンザには注意を。～